

# 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察防除情報第21号

## いちご ハダニ類の防除対策の徹底について

ハダニ類の発生が平年より多い傾向にあり、発生圃場率も高くなっています。葉縁の丸まったところに隠れていることから葉裏をルーペ等を用いてよく観察し、発生圃場では対応が遅れないように防除対策を徹底するよう指導願います。

### 1. 発生状況

1月前期の巡回調査（27筆）の結果、寄生株率は9.0%（平年 6.7%）、発生圃場率は77.8%（平年 45.5%）であり（図1、2）、発生圃場率は過去10年で最も高かった（表1）。

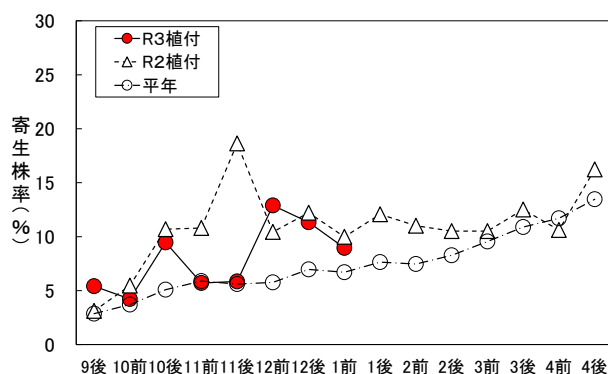


図1 いちご ハダニ類 寄生株率

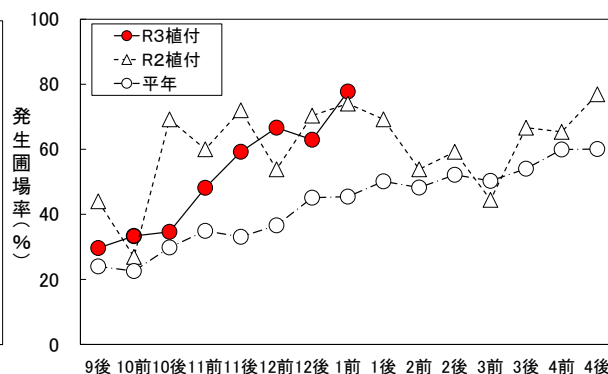


図2 いちご ハダニ類 発生圃場率

表1 いちごハダニ類の1月前期における発生状況（過去10年）

|           | H23  | H24  | H25  | H26  | H27  | H28  | H29  | H30  | R1   | R2   | R3   |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 寄生株率 (%)  | 5.4  | 3.7  | 2.2  | 7.9  | 5.9  | 6.7  | 17.1 | 3.2  | 10.8 | 10.0 | 9.0  |
| 発生圃場率 (%) | 48.1 | 33.3 | 22.2 | 44.4 | 44.4 | 48.1 | 57.7 | 26.0 | 61.5 | 74.1 | 77.8 |

### 2. 防除対策

- (1) 早期発見、早期防除に努める。また、防除効果を高めるため薬剤散布前に古葉を除去し、薬液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布する。
- (2) 薬剤の選定にあたっては、使用時期などラベルをよく確認し、ミツバチや天敵のカブリダニ類等への影響を考慮する。
- (3) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和3年長崎県病害虫防除基準P216～219「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤の連用を避け、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤や異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。
- (4) 除去した茎葉は圃場内に放置せず、すみやかに処理し、圃場内の環境整備に努める。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jpnn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所） TEL：0957-26-0027

